

令和二年度 一般入学試験問題

国語

◎ 指示があるまで開かないこと

北海道社会事業協会 帯広看護専門学校

問題一 次の文章を読んで、設問に答えよ。

まちづくりの価値について、① **ゆだん** すると経済的な価値、それも金銭的な価値が最終的な目標とされてしまう。ところが、僕の感覚ではまちづくりやコミュニティデザインはレクリエーションのようなものである。いや、実はこの言葉も少しニュアンスが違うのだが、入り口としてはむしろレクリエーションのようなものだと思えたほうがわかりやすいと思っている。

レクリエーションとは、創造性を回復するための行為だといわれている。 **A** 「リ・クリエーション」という考え方だ。何かを生み出す仕事を続けていると② **疲弊** して行く。その創造力(クリエイション)を回復させるために、「リ・クリエーション」が必要であり、ハイキングへ行ったりバーベキューをしたりして英気を養う。その結果、さらなる創造力を発揮して仕事に取り組みことができるようになるということなのだろう。

まちづくり活動やコミュニティ活動は、仕事の③ **えんちよう** だと考えるのではなく、レクリエーションの一部だと考えるほうがいい。テニスをしたり、野球をしたりするのは同じだ。そのためにテニスコートを借りたり野球場を借りたりしなければならぬのであれば、メンバーみんなでお金を出し合っただけで楽しむ。これと似ている。コミュニティ活動も、基本的には **B** であり、必要ならみんなで資金を出し合う。そこで得たことが、自分の仕事の活力になり、新鮮な気持ちで働くことができるようになる。まさにレクリエーションである。活性化とは本来こういうことを指す言葉だろう。

C 、まちの活性化というとしても「経済活性化」ということになり、それはつまり「金銭的に儲かること」という意味になってしまう。まちの活性化というのは、まちを構成する一人ひとりが活性化することであり、つまりは「よし、やるぞー」という活力を得ることのはずだ。「生きていくための活力を得る」ことが活性化であり、多くの人がそう感じるができるようになることが「まちの活性化」である。

そう考えると、金銭的に儲かることも「よし、やるぞー」というモチベーションにはなるが、逆にモチベーションを高める要素は金銭だけではないことも確かである。一緒に活動する人に励まされることもあるし、活動の結果が大きな達成感を与えてくれることもある。まちの人たちから感謝されて嬉しくなることもあるし、いまままでできなかったことができるようになることもある。こうした経験すべてがやる気につながり、さらなる創造性を④ **沸** き立たせてくれることになる。その意味では、まちづくり活動やコミュニティ活動はレクリエーションの一種だといえよう。

さらに細かく考えると、そもそもレクリエーションという言葉が労働側に軸足を置いた発想であるのが少し気に入らない。労働でへとへとになった人がレクリエーションで英気を養い、その結果また労働に集中するための「リ・クリエーション」になってしまっているのもつたないことだ。むしろレクリエーション自体を楽しむという発想があってもいい。

レクリエーションは余暇活動と訳される。つまり「余って⑤ **暇** な時間にやる活動」ということになる。しかし、実際には労働と余暇という関係、つまり主従関係ではなく、どちらも⑥ **たいとう** に大切な関係にあると考えたほうが自然だ。あるいは両者が渾然 **D** となった働き方や生き方もあるだろう。僕らの働き方は **E** それが混ざって切分けられない。働いているのか遊んでいるのかわからない時間ばかりだ。しかし、その両者がうまく刺激し合い、成果を生み出してくれている。同様の働き方をしてる人はきつと増えているだろう。友人を見渡しても、そのタイプの働き方にシフトしている人がかなり多いことに気づく。すでに労働と余暇をふたつに切り離して、労働力を回復するためのレクリエーションに励む人は少なくなっているように感じる。

その意味では、まちづくり活動やコミュニティ活動が「リ・クリエーション」だともいい切れない。むしろ、「どっちが本業かわからなくなっちゃいましたよ」と笑いながら活動する市民の笑顔を見れば、何が大切なのかがすぐに

わかる。

僕たちはまちづくり活動やコミュニティ活動から多くのものを得ている。儲けている。それは金銭的な儲けに限らない。むしろ、活動の初期期は金銭的な儲けはほとんどない。が、やっていて楽しいと思えることがあれば、活動を続けてしまう。何年か⑦た^(e)って、活動が認知され、人々に求められるものになった後に、金銭的な儲けも少しついてくるようになるかもしれない。が、それはもともとの目的ではない。

(山崎亮『コミュニティデザインの時代』 一部改変)

設問一

内①～⑦の平仮名(ひらがな)は漢字に、漢字は平仮名(ひらがな)に書き換えなさい。

設問二

A、

C、

E

には、どんな接続詞(つなぎことば)が入るか。次の中から最も適当と思われる語をそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア まさに イ そして ウ ところが エ つまり オ あるいは

設問三

右に傍線部のある語句(c)「集中」と反対の意味を表す二字熟語(対義語)を書きなさい。

設問四

D

に適当な二字熟語を当てはめて、四字熟語を完成させなさい。

設問五

右に傍線部のある語句(a)「まちづくりやコミュニティデザインはレクリエーションのようなものである」のはなぜか。筆者がこのように考える理由を、本文中の語句を用いて、四十字以内で答えなさい。

設問六

B

には、どんな語句が入るか。次の中から最も適当と思われる語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 見えないところで地道に活動するもの
- イ 自分たちが楽しむために行うもの
- ウ 公的な資金でまかなわれるべきもの
- エ 個人が能力を発揮するためのもの
- オ 大勢でやってこそ意義があるもの

設問七

右に傍線部のある語句(b)「軸足を置いた(置く)」の意味として最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 決められた場所から動かないようにする。
- イ 中心となる人や場所を決める。
- ウ 大勢の人の支持を受ける。
- エ 目的地や目標に向かって全力で進む。
- オ ある方策や思考、立場などに力を入れる。

設問八

右に傍線部のある語句(d)「むしろレクリエーション自体を楽しむ」とはどういうことか。それを説明した次の文の空欄①～③に当てはまる語句を本文中から書き抜きなさい。ただし、①は六字、②と③はそれぞれ二字とする。

レクリエーションを、(①) させるためのものと捉えるのではなく、(②) と (③) がうまく刺激し合うような働き方や生き方をすること。

設問九

右に傍線部のある語句(e)「それはもともとの目的ではない」について、町づくり活動やコミュニティ活動の「もともとの目的」に当たる語句を、本文中から二十字以内で書き抜きなさい。

問題二 次の文章を読んで、設問に答えよ。

「どうする時田、ぼくは勉強が出来ない、なんて開き直ってる場合じゃないぞ」

桜井先生は、溜息をついて、ぼくの成績表をめくった。彼は、とても情けない表情を浮かべている。本当に心配しているようだ。ぼくも困っている。今頃、進学すべきか① しゅうしょくすべきかを迷っているのは、ぼくだけに違いないのだ。と、いうより誰も悩んだりしない。誰もが、当然のことのように、大学に進学するのだ。ぼくの高校はそういうところなのだ。

「いったい、どうしたいんだ、時田は」

ぼくは、ますます困ってしまい下を向いた。

「A。皆と同じに大学に行くべきなのかなあって思うこともあるし、でも、大学で何を勉強していいのかさっぱり……ぼくって、皆より遅れてんのかな。高校が五年ぐらいあるといいんだけど」

「甘たれてるな」

「その通りです」

ぼくの言葉に桜井先生は力が抜けたようだった。ぼくは、彼が、ぼくのことをとても好きなのを知っている。彼は、^(a) 沢山のことを教えてくれた。サッカーや食べものことや、女の子のことはともかく、本を読むことや、そうだ、本だ。

「先生、ぼくは、それでは文学部に進みます」

「……思いつきで、その場しのぎをしようたって駄目だ。女にもてそうにもない哲学者の本なんて③ しんよう出来ないと言っていたのは誰だ」

「B」

「なあ、時田、先生は、おまえを追いつめる気はないぞ。誰だって、確信を持って進路を決める訳じゃないんだ。だいたい、十七、十八で、そんなこと確信するのは、おこがましいよ。^(b) 未来なんて誰にも解りやしないんだ。だけどね、時間は、いつも動いてるんだ。立ち止まってる訳には行かないぞ。簡単なことじゃないか。大学に行くにしても、行かないにしても、準備をしなきゃいけない。失敗したって、やり直せる程度のことなんだから、早目に決めた方が便利だぞ」

^(c) 失敗する以前の問題なのだが、と、ぼくは思いながら外に出た。陽ざしが熱い。遠くでサッカー部の後輩たちが柔軟体操をしている。ぼくは、^(d) もうあそこで、ボールを蹴ることが出来なくなるのだ。

④ 感傷に浸ってるの？」

振り返ると黒川礼子が笑っていた。相変わらず少しも汗をかかないような皮膚をしている。

「最近、体の調子どう？ 黒川さん」

「C。鉄分をしっかりと取ってるもん。あ、時田くん、アルミの鍋って良くないから使っちゃ駄目よ。テフロン加工もよ。年を取ってから、アルツハイマーになるんだってさ。患者の脳から、長年つもったアルミが

⑤ けんしゅつされてるんだって。ほけちゃうのって、やでしょ、あ、時田くんは、もう、ほけてるか、ははは」

ははは。ちっともおかしくないぞ。彼女は、最近、明るい表情を浮かべている。進路の決まった⑥ しゅうさいは、これから元気になって行くのだ。

「D、黒川さん、⑦ 貧血を起こさない黒川さんて恐いものなしだよね」

「あら、そうでもないのよ。病は気からって自分に言い聞かせているの。私には、時田くんの方が恐いものなしに見えるわ」^(e)

黒川礼子は、そう言いながら、ちらりとぼくを見た。

「時田くん、なんだか、少し困ってるようだけど、気にすることないよ。誰だって困ってるんだから。あなたは、自分のように考えてるの自分だけと思ってるかもしれないけど、それって、一種の特権意識よ。反省した方が良くもよ」

憎らしい女だ。ぼくは、黒川礼子の後ろ姿を見ながらそう思った。しかし、それと同時に、自分自身が彼女の言う通り嫌な奴のように思えて鳥肌を立てた。病は気から。鳥肌は自己嫌悪からだ。ああ情けない。桜井先生と向かい合っていた時、ぼくはぼくなのだという開き直った傲慢さがなかったと言えるだろうか。

(山田詠美『ぼくは勉強ができない』)

設問一

内①～⑦の平仮名(ひらがな)は漢字に、漢字は平仮名(ひらがな)に書き換えなさい。

設問二

 A D

には、どんな語が入るか。次の中から最も適切と思われる語をそれぞれ一つずつ選

び、記号で答えなさい。

ア いいなあ イ わかんないんです ウ すみません エ いいわよ

設問三 右に傍線部のある語句(b)「おこがましい」の意味として最も適切と思われる語を一つ選び、記号で答

えなさい。

ア 冷静ではない

イ なまいきである

ウ 愚かである

エ わざとらしい

オ 的外れである

設問四

右に傍線部のある語句(a)「ぼくの言葉に桜井先生は力が抜けたようだった」とあるが、なぜか。このときの桜井先生の心情として最も適切と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア いつになく真剣な「ぼく」の様子に感心している。

イ 冗談も通じないほど落ち込んでいる「ぼく」に同情している。

ウ 「ぼく」があまりにも素直に認めたため、あきれている。

エ 自分の甘えを隠そうとしない「ぼく」の態度に腹を立てている。

オ あくまでも冷淡な「ぼく」の言葉に深く傷ついている。

設問五

右に傍線部のある語句(c)「失敗する以前の問題」とは、具体的にどういうことか。本文中の語句を使って答えなさい。

設問六

右に傍線部のある語句(d)について、「ぼくは、もうあそこで、ボールを蹴ることが出来なくなる」のはなぜか。十字以内で簡潔に答えなさい。

設問七 右に傍線部のある語句(e)「黒川礼子は、そう言いながら、ちらりとぼくを見た」とあるが、このとき

の彼女の心情として最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア「ぼく」の心情を察し、自分なりのアドバイスをしてあげたいと考えている。

イ「ぼく」の態度に気分を害し、言い返さなければ気が済まないと思っている。

ウ「ぼく」の様子が気にかかり、何とか話を聞き出そうとしている。

エ「ぼく」が自分の忠告を聞きいれてくれそうにないので、さみしく思っている。

オ「ぼく」が本心を打ち明けられない以上、自分も何も言うべきではないと思っている。

設問八 右に傍線部のある語句(f)「ぼくはぼくなのだという開き直った傲慢さ」を象徴的に表している箇所を、

本文中の「ぼく」の発言から二十字以内で書き抜きなさい。